astraJLPT Editorial

Language Knowledge (Vocabulary/Grammar)・Reading

問題用紙

（２０２４-１）

N2

言語知識（文字・語彙・文法）・読解

（105分）

注 Notes 意

1．試験が始まるまで、この問題用紙を開けないでください。
Do not open this question booklet until the test begins.

2．この問題用紙を持って帰ることはできません。
Do not take this question booklet with you after the test.

3．受験番号と名前を下の欄（らん）に、受験票と同じように書いてください。
Write your examinee registration number and name clearly in each box below as written on your test voucher.

4．この問題用紙は、全部で32ページあります。
This question booklet has 32 pages.

5．問題には解答番号の 1 、 2 、 3 … が付いています。解答は、解答用紙にある同じ番号のところにマークしてください。
One of the row numbers 1 , 2 , 3 … is given for each question. Mark your answer in the same row of the answer sheet.

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

問題1　＿＿＿の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1　状況（じょうきょう）を詳細に書いてください。

1　そうざい　　2　そうさい　　3　しょうざい　　4　しょうさい

2　分析には少し時間がかかります。

1　ぶんせき　　2　ぶんかい　　3　ぶんせつ　　4　ぶんかつ

3　髪の毛がくしに絡まってしまった。

1　はさまって　　2　からまって　　3　つまって　　4　たまって

4　ここでは、農薬をまったく使わずに野菜を栽培（さいばい）している。

1　のんやく　　2　のうやく　　3　のうらく　　4　のんらく

5　とても鮮やかだったことをよく覚えている。

1　おだやか　　2　さわやか　　3　あざやか　　4　なごやか

問題２　＿＿＿の言葉を漢字で書くとき、最もよいものを１・２・３・４から一つ選びなさい。

6　この会社をしぼうした理由を教えてください。

1　希望　　2　志望　　3　指望　　4　貴望

7　あの作家のたんぺん小説は、とても面白い。

1　短編　　2　単編　　3　短遍　　4　単遍

8　桜（さくら）の花がちっていくのを眺（なが）める。

1　消って　　2　去って　　3　散って　　4　失って

9　このセーターにはとてもやわらかい毛糸が使われている。

1　伸らかい　　2　軽らかい　　3　暖らかい　　4　柔らかい

10　最近あまり体調がよくないのは、ひろうのせいだろう。

1　疲労　　2　病労　　3　疲老　　4　病老

問題３　（　　）に入れるのに最もよいものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

11　しょうゆの（　　）原料は大豆（だいず）です。

1　主　　2　要　　3　正　　4　本

12　子どもたちの読書（　　）が進んでいるらしい。

1　抜け　　2　逃げ　　3　別れ　　4　離れ

13　経営の方針（ほうしん）については、社長が決定（　　）を持（も）っている。

1　任　　2　手　　3　権　　4　裁

問題４　（　　）に入れるのに最もよいものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

14　両親はおいしい料理で客(きゃく)を（　　）のが好きだ。

1　もてなす　　2　おだてる　　3　許す　　4　救う

15　その駅は、各駅停車(かくえきていしゃ)の電車は止まりますが、急行電車は（　　）します。

1　経由　　2　直進　　3　通過　　4　横断

16　見た人の記憶(きおく)に残るような（　　）のあるポスターにしたい。

1　インパクト　　2　プレッシャー　　3　チャージ　　4　ショック

17　地元の選手がオリンピックでメダルを獲得(かくとく)したことがテレビで（　　）された。

1　通信　　2　普及　　3　伝言　　4　報道

18　台風で電車が運休になり、通勤や通学で利用する人に（　　）影響(えいきょう)を与えた。

1　大まかな　　2　偉大な　　3　大げさな　　4　多大な

19　西川(にしかわ)さんは転校してきたばかりだが、友達もできて、もうすっかりクラスに（　　）いる。

1　当てはまって　　2　溶け込んで　　3　結びついて　　4　触れ合って

20　私は（　　）性格なので、時々財布を持たずに買い物に出かけてしまうことがある。

1　あつかましい　　2　うっとうしい　　3　そそっかしい　　4　さわがしい

問題５　＿＿＿の言葉に意味が最も近いものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

21　出張の日程はおおよそ決まりました。

1　だいたい　　2　すべて　　3　やっと　　4　もう

22　彼女はとても行儀がいい。

1　アイデア　　2　サービス　　3　マナー　　4　イメージ

23　中西（なかにし）さんはいつもいばっている。

1　眠そうにして　2　偉そうにして　3　暇（ひま）そうにして　4　嫌そうにして

24　使わない物は、ここに収納してください。

1　並べて　　2　捨てて　　3　預けて　　4　しまって

25　横山（よこやま）さんは不平を言うことが多い。

1　冗談（じょうだん）　　2　文句（もんく）　　3　うそ　　4　わがまま

問題6　次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

26　共有

1　市民ボランティアの共有で、留学生のスピーチコンテストが行われた。

2　大学と企業が共有で新しい技術の研究を行っている。

3　これらの事件には、発生場所に共有の特徴があることが分かった。

4　結婚してから購入した物は、夫婦の共有の財産になる。

27　鋭い（するど）

1　動物たちが自然界で生きていくためには、鋭い感覚が必要だ。

2　弟は記憶が鋭くて、本に載っているたくさんの国名や国旗をすぐに覚えた。

3　赤ちゃんの肌は鋭いから、少しの刺激で赤くなってしまう。

4　運動の能力が鋭い人は、どんなスポーツでもすぐに上達する。

28　はきはき

1　よく眠ったので、今日は頭がはきはきとしている。

2　ビルの屋上から、遠くの山がはきはきと見える。

3　その学生は、聞かれたことにはきはきと答えた。

4　ミスの原因をはきはきとさせるために、調査が行われた。

29 鑑賞（かんしょう）

1　学校の授業で、工場へ行って自動車を組み立てる様子を鑑賞した。

2　中学生のとき、市のコンサートホールでクラシック音楽を鑑賞した。

3　資料を読んで、自然を守るための国の活動について鑑賞した。

4　レストランで、素材の良さを生かした料理を舌でじっくり鑑賞した。

30 着々（ちゃくちゃく）

1　ベランダが着々と古くなって危険なので、修理することにした。

2　ゲームに夢中になっていたら、時間が着々とたっていた。

3　来週のパーティーの準備は着々と進んでいるようだ。

4　夕方になって、外は着々と涼しくなってきている。

問題7　次の文の（　　）に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

31 卓球クラブの山谷さんは大きな大会で何度も優勝しているのに、「私（　　）まだまだですよ。」といつも言っている。

1　まで　　2　さえ　　3　ばかり　　4　なんか

32 携帯電話を一人一台持つのは当たり前といわれる現代で、私のように携帯電話なしで生活している人は（　　）いるのだろうか。

1　どうも　　2　どれほど　　3　どうしても　　4　どんなに

33 花山市では、きゅうりやトマト、なす（　　）夏の野菜が多く生産されている。

1　とする　　2　に関する　　3　といった　　4　に沿った

34 彼とは数年前に先輩の結婚式で（　　）、ずっと会っていない。

1　会ったきり　　2　会ったばかりか

3　会っただけに　　4　会ったところ

35 近所に子供向けのダンススクールができるらしい。オープンしたら、娘を体験レッスンに（　　）と思っている。

1　参加してみようか　　2　参加させてみようか

3　参加してみてよかった　　4　参加させてみてよかった

36 （カメラ屋で）

客：「カメラを海に落としてしまって、電源が入らないんです。中に水が入ってしまったようなのですが……。」

店員：「海水が入った（　　）、修理は難しいかもしれませんが、一応見てみますね。」

1　のであれば　　2　ことであれば　　3　のであって　　4　ことであって

37　母「引っ越しまでまだ時間はあるけど、直前になって慌(あわ)てないように、(　　)、荷物の整理、進めておきなさいね。」

息子「うん、わかった。」

1　少しだけでいいのに　　2　少しだけならよくても

3　少しずつでいいから　　4　少しずつならよくて

38　1896年の第1回オリンピックに参加した国と地域の数は14だったが、2004年には200を超える(　　)。

1　べきだった　　2　つもりだった　3　ほかなかった　4　までになった

39　チームでの仕事をスムーズに進めるには、メンバー同士の十分なコミュニケーション(　　)。

1　にすぎない　　2　が欠かせない　3　のおかげだ　　4　とのことだ

40　昨日、新しくできた遊園地に行った。電車より車のほうが早いだろうと思って車で行ったら、ひどい渋滞(じゅうたい)でかえって時間がかかってしまった。やはり電車で(　　)。

1　行けばよかった　　2　行くはずだった

3　行かなくて済んだ　　4　行きたくてしかたがなかった

41　往復2時間の通勤を週に5日、40年間続けたとすると、通勤時間は約2万時間で、2年以上の時間を通勤に使う(　　)。

1　ということにする　　2　ということにしている

3　ということになる　　4　ということになっている

42　(電話で)

A「お電話ありがとうございます。クロカワ建設営業課でございます。」

B「高橋(たかはし)さんはいらっしゃいますか。」

A「失礼ですが、お名前を(　　)。」

1　伺ったらいかがでしょうか　　2　伺ってもよろしいでしょうか

3　お伝えしたらいかがでしょうか　　4　お伝えしてもよろしいでしょうか

問題 8　次の文の ＿★＿ に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

（問題例）

あそこで ＿＿＿ ＿＿＿ ＿★＿ ＿＿＿ は山田さんです。

1 テレビ　　2 見ている　　3 を　　4 人

（解答のしかた）

1. 正しい文はこうです。

あそこで［1 テレビ］［3 を］［★2 見ている］［4 人］は山田さんです。

2. ★に入る番号を解答用紙にマークします。

（解答用紙）

（例）	① ● ③ ④

43　「さわら」という魚は、漢字で「鰆（さわら）」と書く ＿＿＿ ＿★＿ ＿＿＿ ＿＿＿ 魚の一つです。

1　ように　　2　わかる　　3　ことから　　4　春を代表する

44　会議での西山（にしやま）さんのプレゼンは、普段はなかなか ＿＿＿ ＿＿＿ ＿★＿ ＿＿＿ 素晴らしかった。

1　ぐらい　　2　部長が

3　褒める　　4　褒めることがない

45　同じ気温 ＿＿＿ ＿＿＿ ＿★＿ ＿＿＿ は大きく変わる。

1　感じ方　　2　でも

3　湿度や風の強さなど　　4　によって

46 「山川大学アニメ研究会」は、＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿★＿ ＿＿＿＿ できた団体です。

1　学生が　　2　集まって

3　アニメが　　4　好きでたまらないという

47 会社の今井先輩(いまいせんぱい)は、自分はミスが多いといつも言っているが、＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿★＿ ＿＿＿＿ ように見える。

1　新人で　　2　何でも完璧にできている

3　私からすると　　4　わからないことばかりの

問題９　次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、 48 から 51 の中に入る最もよいものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

以下は、留学生がスピーチのために書いた文章である。

紅葉（こうよう）の異変

サリムソフィア

私は日本の秋の景色が好きです。秋になって紅葉（こうよう）が始まり、緑だった葉が黄色やオレンジ、赤に変わると、とてもきれいです。秋の紅葉（こうよう）は、日本の四季の変化を感じさせてくれるものです。

48 ですが、先日テレビで、紅葉がピークを迎える時期が年々遅くなっているというニュースを見ました。中には、1月になってからピークを迎えたところもあるそうで、驚きました。温暖化によって平均気温が上昇していることが大きな原因だそうです。私は、夏が過ぎて気温が下がってくれば、必ず紅葉が始まると思っていました。 **49** 、そうではありませんでした。紅葉には、条件となる気温の変化がありました。

葉の変色が始まるのは、1日の最低気温が大体8度以下になってからです。秋になっても、最低気温が一定の気温まで下がらなければ、紅葉は **50** 。その後、さらに寒くなり、5~6度まで下がると、紅葉は一気に進みます。また、5度以下の日が続くと、最も美しい紅葉が見られるといわれています。

紅葉に起きている異変を知り、このまま温暖化が進むと、日本の秋の景色が変わってしまう可能性もあるのではないかと思いました。もしかしたら、紅葉自体が見られなくなる日も来るかもしれません。紅葉を通して、温暖化が身近な問題であることをより強く **51** 。

48

1　そこの紅葉　　2　そんな紅葉　　3　そちら　　4　紅葉

49

1　結局　　2　確かに　　3　しかし　　4　つまり

50

1　始まらないのです　　2　始まらないためです

3　始まらないのでしょうか　　4　始まらないためでしょうか

51

1　感じているからだと思います　　2　感じられるところだと思います

3　感じさせることができました　　4　感じるようになりました

問題 10　次の（1）から（5）の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

（1）

自分の言葉は自分の頭の中にしかなく、相手の言葉は相手の頭の中にしかありません。抽象的な言葉の場合には、まったく同じ意味で使用していることのほうが少ないと言えるでしょう。したがって、議論をする際には、言葉の定義(注)づけが重要になってきます。相手がどういう意味でその言葉を使用しているのか、自分と同じ意味で使用しているのかを確認することは大切なことです。これは、論理的に会話をするうえでの大前提となるものです。

（注）定義づけ：ここでは、意味を決めること

52　筆者によると、論理的な会話をするのに必要なことは何か。

1　抽象的な言葉をできるだけ使用しないようにする。

2　抽象的な言葉を、正しい意味かどうかを確認してから使用する。

3　同じ言葉を、相手と自分が同じ意味で使用しているかを確認する。

4　相手の知らない言葉は、自分がどういう意味で使用しているかを説明する。

（2）

以下は、ある鉄道会社がホームページに掲載したお知らせである。

トップ > お知らせ > 定期システム点検実施のお知らせ

6月の定期システム点検実施のお知らせ

いつも北坂鉄道をご利用いただきまして、ありがとうございます。
当社では情報管理システムの安全性向上のため、第4土曜日の夜間にシステム点 検を実施しております。
今月の作業は6月23日（土）午前2時から4時までとなります。この間は、予約 システムを休止いたします。インターネットでの特急券予約がご利用いただけなくなりますのでご注意ください。なお、ホームページ内の時刻表や運賃表は通常どおり閲覧が可能です。
ご不便をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

北坂鉄道株式会社

53 このお知らせで伝えたいことは何か。

1　6月23日の午前2時から4時までは、インターネットで特急券が予約できない。

2　6月23日の午前2時から4時までは、ホームページで時刻表や運賃表が見られない。

3　6月23日の午前4時以降、インターネットで特急券が予約できるようになる。

4　6月23日の午前4時以降、ホームページで時刻表や運賃表が見られるようになる。

（3）

新緑の時期に森を歩くと、地面に小さなロールキャベツ状の物体が落ちているの を見かけます。しばしば一か所に大量に落ちていて、とてもよく目立ちます。これはオトシブミという小さな甲虫 の仲間が、自分の幼虫のためにつくったものです。この虫のメスは、自分の産んだ卵 を木の葉で丁寧に包んでから地面に落とす習性をもちます。中で孵った幼虫は、内側からこの巻いた葉を食べて成長します。幼虫にとっては、この葉巻きは隠れ家で あるとともに食料なわけです。

（注1） ロールキャベツ：キャベツで肉を包んだ料理

（注2） 甲虫：虫の一種

（注3） 習性：ここでは、特徴的な性質

（注4） 孵った：ここでは、卵から生まれた

54 オトシブミという虫について、筆者はどのように述べているか。

1　食料を木の葉で包んで落とし、幼虫はそれを見つけて食べる。

2　木の葉と卵を落とし、生まれた幼虫は食料をその葉で巻いて隠す。

3　卵を木の葉で包んで落とし、生まれた幼虫はその中でその葉を食べる。

4　落ちている木の葉に卵を産んで包み、幼虫はその中で生まれて育つ。

（4）

以下は、ある会社に届いたメールである。

コイノ株式会社

営業部 島川英一様

お世話になっております。JC 文具の池西です。

昨日、商品「軽量ホチキス cx35」の見本が2個届きました。機能性とシンプルな デザインは社内で評価が高く、取り扱い商品に加える方向で検討を進めております。同封されていた最新のカタログによると、来月から新色として3色が追加で発売され、全部で5色になるとのことですので、新色の見本も送付していただけないでしょうか。代金が必要な場合は、お支払いします。

取り扱うことが正式に決定しましたら、まずは5色を20個ずつ注文する予定です。
よろしくお願いいたします。

JC 文具
池西秋子
ikenishi-a@jcbungu.co.jp

---

55 このメールの用件は何か。

1　見本として5色すべての商品を送ってほしい。

2　見本として新色の3個を追加で送ってほしい。

3　見本の代金としていくら支払えばいいか教えてほしい。

4　商品5色を20個ずつ注文できるかどうか教えてほしい。

（5）

競争や出世にはあまり関係のない、たとえばだれかを支えたり育(注1)んだりする仕事に喜びを感じる人もいるでしょう。仕事はそこそこに(注2)、趣味に生きることを楽しむ人もいるでしょう。たとえ、受験や就職(しゅうしょく)、あるいは出世などの過酷(かこく)(注3)な競争ゲームのただ中(注4)にあったとしても、そしてそれにある時、敗れてしまったとしても、わたしたちの人生の選択肢(せんたくし)はそれだけではないし、「それで終わり」というわけでもありません。視点を変えれば、現代社会にはさまざまな生き方の世界が広がっているのです。

（注1）育む：育てる

（注2）そこそこに：適度に

（注3） 過酷な：非常に厳しい

（注4） ただ中：最中

56 筆者の考えに合うのはどれか。

1　他人と競争せずに、自分の生き方を見つければいい。

2　人生の選択肢(せんたくし)は多様であり、生き方は一つではない。

3　人生の選択肢(せんたくし)が多ければ多いほど、世界が広がっていく。

4　仕事や趣味を通して、さまざまな生き方を知ることができる。

問題 11　次の（1）から（4）の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

（1）

ほとんどの人が、スマホやタブレットを通して、大量(注1)の SNS(注2) やネットニュース を毎日見ていることでしょう。多くの人がその膨大な情報を読むことあるいは見ることに、かなりの時間を費(注3)やしていて、ネット上の情報に追われている印象すら受けます。その結果、じっくり考える時間がどんどん少なくなっているようにも感じられます。

また、大量の情報がネット上に流されるようになった結果、自分に都合の良い情報にしか接しない人が増えてきています。技術革新(注4) のおかげではあるのですが、SNSやネットニュースでは、その人の履歴(注5)から判断して、その人が関心を持っていると思われる情報やニュースが目につくところに流れるような工夫がされています。

このような工夫はとても便利なことで、それによって時間が節約できたりする面は確かにあります。

（中略）

しかし、人々が見たいものだけを見て、信じている情報だけに接すると、発想が固定化してしまい、新しい進化が生まれにくくなってしまいます。また、思想的にも偏りのある考えが生まれやすくなってしまいます。

そう考えると、この大量情報社会においては、いかにうまく情報を処理していくか(注6)がとても大事なことがわかります。また、大量情報を、一部だけ最初から抜き出して把握(注7)するのではなく、偏りがない形で、大量に処理することも必要です。

（注1） スマホやタブレット：コンピューターの機能を持った小型の電子機器類

（注2） SNSやネットニュース：ここでは、インターネット上でやり取りされる情報やニュース

（注3） 費やす：使う

（注4） 技術革新：技術の進歩

（注5） 履歴：ここでは、インターネット上の情報の閲覧の記録

（注6） いかに：どのように

（注7） 把握する：理解する

57 このような工夫とは、どのようなことか。

1 情報を要約して、短時間で大量に見られるようにすること。

2 多くの人が関心を持っている情報を優先的に流すこと。

3 見る人が自分では探せない情報を選んで、提供すること。

4 見る人の興味の傾向に合わせて、情報を提供すること。

58 大量情報社会について、筆者の考えに合うのはどれか。

1 発想が固定化しないように、大量の情報を工夫して処理しなければならない。

2 思想的に偏りのある考えでも、工夫してうまく処理しなければならない。

3 必要な情報を選ぶために、大量の情報をうまく処理しなければならない。

4 時間がかかっても、偏りなく大量の情報を処理しなければならない。

（2）

勉強にしても、仕事にしても、その能率には必ず波があり、それがないようにみえても、波が小さいだけである。つまり、人間は機械のようにいつも同じ調子ではたらいてはいないから、1時間に50個の製品がつくれるから、10時間で500個がつくれる、という具合いには計算できない。従って、脳が最も快調にはたらいているときを基準にすると、たいていのときは不調ということになってしまう。

それでも、全く無計画に勉強や仕事をするわけにもゆかないので、一応はスケジュールを立てる。その際に、快調に脳がはたらいているときの能率を基準にしてスケジュールを立てれば、そのスケジュールの通りにことが進行することは絶対にないといってもいい。その度に、自分の才能に失望していれば、失望しつづけることになる。さし迫った(注1)状態では、どうしても脳がフル回転(注2)しているときを基準にスケジュールを組むので、たいていは不完全な形で終ってしまう。スケジュールをつくるときには、せめて中等度に脳がはたらいているときの能率を基準にする必要がある。スケジュール以上にはかどっても(注3)誰もこまる人はいない。

そして、スケジュールにこだわるよりは、脳の変動の波をできるだけ感じとり、能率が悪くても悲観(注4)せずに、必ず上げ潮(注5)のときがくることを期待すればいい。そして、上げ潮のときには自分でもおどろくほどに能率が上がるので、そのときに一気に遅れをとり戻せばいいのである。

（注1） さし迫った：ここでは、時間に余裕がない

（注2） フル回転する：ここでは、最もはたらく

（注3）はかどる：順調に進む

（注4） 悲観する：悲しむ

（注5）上げ潮のとき：調子が上向きになるとき

59 筆者によると、スケジュールを立てる際の注意点は何か。

1　脳の調子がいいときを基準にしない。

2　いつも脳が同じ調子ではたらけるようにする。

3　能率の変化を考えすぎない。

4　能率が悪くなったときに変更できるようにしておく。

60 筆者の考えに合うのはどれか。

1　能率を上げるためには、脳の状態をコントロールするといい。

2　脳の変動の波に合わせて勉強や仕事を進められる方法を探すといい。

3　計画の通りに行かなくても失望せずに、脳の調子が上がるのを待てばいい。

4　計画の通りに勉強や仕事を進めるためには、脳の変動の波を小さくすればいい。

（3）

お祭りの日は町の雰囲気が一変(注1) して、ふだんひっそりとしている町並(注2)みがいきいきとしています。そんな町の様子を「祭りがある町」として撮る。神社の境内(注3)で行われるような祭りであれば、「神社」の風景として撮る。というふうに少し視点を周辺にずらしてみると単なる祭り写真ではない写真に出会えます。祭りの中から自分だけの祭りを探し出すことができるかどうか。写真を見た人から、こういう祭りの見方もあるんだねと言われるような写真が撮れたら「祭りの写真」ではなく写真として内容のあるものになると思います。

（中略）

「もう何年もかけて撮ってるんだけど、いい写真が撮れなくてね」とぼやく(注4)人がいますが、そういう人は頭の中で思い描いた「上手い写真」の構図(注5)から離れることができずにいて、すでにいろいろと見慣れている同じような画像を撮らされるだけだからなのです。

ねらった被写体(注6)を自分のものにするのだと独占する強引さがないと、被写体が刺激的であるほどその場にふりまわされてしまいます。祭りなら激しい動きに、絶景(注7)なら色彩にのみこまれて被写体に撮らされているみたいになる。

被写体に撮らされてしまうような写真は、結局その場の説明でしかない。表現としての写真は自分だけの写真を撮ることになるわけで、それはフィクションでもあるのですから、つねに「私はこう見た」「私はこう撮った」を撮るのです。

（注1） 一変する：すっかり変わる

（注2） 町並み：ここでは、町の様子

（注3） 境内（けいだい）：ここでは、敷地（しきち）内

（注4） ぼやく：不満を言う

（注5） 構図（こうず）：画面の構成

（注6） 被写体（ひしゃたい）：写真に撮る対象

（注7） 絶景（ぜっけい）：素晴らしい景色

61 写真として内容のあるものとはどのようなものか。

1　祭りの風景から町の人の様子が分かるような写真。

2　祭りに対する撮る人自身の見方が感じられる写真。

3　見る人にとって祭り独特の魅力が感じられる写真。

4　撮る人自身の祭りに対する情熱が伝わってくる写真。

62 写真を撮(と)ることについて、筆者が言いたいことは何か。

1　上手い写真を撮(と)ろうと思っても撮れるものではない。

2　上手い写真が撮(と)れるまで、自分の撮り方を続けるべきだ。

3　自分だけの写真を撮るには、刺激的(しげきてき)な対象を探し出すべきだ。

4　自分にしか表現できないものを撮(と)るという気持ちで撮るべきだ。

（4）

何事もそうですが、「できる人」は応用がききます。接客が完全にマニュアル化されているファーストフード店に行っても、やはりスタッフの差は出ます。たまたま時間のかかるメニューを頼んでしまった際の事前説明、セットメニューに関する質問への対応など、ちょっと注意して観察してみると、頭の回転と表現力の差は随所(注1)に表れてきます。

（中略）

もっと高度な判断を求められる仕事の現場はどうでしょう。どんな仕事にも、マニュアルもしくは(注2)マニュアルに類するような規準があります。その中で「できる人」は、それぞれの仕事にあるマニュアル的なものを咀嚼(注3)して状況に対応します。これがまさに「仕事力の差」につながります。

簡単に言えば、「できる人」は勝手に自分で応用してしまうのです。それは本人にとっては良いことであり、暴走(注4)による失敗は別として、お客にとっても会社や店にとってもプラスに作用することが多いと思います。

しかし今度は人を率いる(注5)立場になり、多くの人を育てる番になったとき、今まで意識しなかった壁に突き当たることがあります。

自分が自然とやってきたことを、なかなかできない人がたくさんいるという事実。これを頭では理解しても、なかなか感覚でキャッチ(注6)できません。そのため部下への指導が、「マニュアルを越えたものが見えている人の世界」で行われてしまうのです。ところが指導される側は「見えていない世界」の住人ですから、うまく受け取ることができないのは当然です。

（注1） 随所（ずいしょ）：いろいろなところ

（注2） もしくは：または

（注3） 咀嚼（そしゃく）する：十分に理解する

（注4） 暴走（ぼうそう）：ここでは、周囲の状況を考えないでやること

（注5） 率（ひき）いる：ここでは、指導する

（注6） キャッチする：受け取る

63 筆者によると、「できる人」とはどのような人か 。

1　マニュアルの問題点を見つけて改善できる人。

2　マニュアルをよく理解し、マニュアルどおりに対応できる人。

3　マニュアルをよく理解したうえで、自分が置かれた状況に対応できる人。

4　マニュアルがなくても、自分のやり方で状況に対応できる人。

64 筆者によると、「できる人」が人を育てるときに問題になることは何か。

1　マニュアルを使わないで、自分の好きなように説明してしまうこと。

2　自分ができることは説明できても、できないことはうまく説明できないこと。

3　自分ができることだけでなく、できないことまで、相手に期待してしまうこと。

4　自分にはできることでも、それをできない人もいることが実感できないこと。

問題 12　次のAとBの文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

A

新しい商品を企画(きかく)するとき、いいアイデアがなかなか思いつかないことがある。そんなとき、自分には才能がないからだと思い込み、自信をなくしてしまうのはよくない。アイデアは生まれつきの能力に関係なく、努力次第(しだい)で誰(だれ)でも生み出すことができる。

アイデアは、情報の組み合わせによって生まれることがほとんどだ。そのため、日ごろから情報を集めておくことが有効だ。担当する商品に関連する情報だけを集めていると、似たようなアイデアばかりになってしまう。発想の幅を広げるには、関連する分野以外の情報も頭に入れておくほうがいい。ふだんから視野(しや)を広げてさまざまな情報を蓄積(ちくせき)しておけば、必ずアイデアの役に立つはずだ。

B

新しい商品を企画するには、これまでとは異(こと)なるアイデアが必要だ。現在流行している商品の情報を集めるだけでは、他社に勝つことはできないだろう。私はアイデアを生み出すために、一般的に考えられていることとは逆の発想をするようにしている。現在流行している商品が若者向けの物なら高齢者向けにできないかと考えたり、多機能の物なら機能を一つに絞れないかと考えたりするのである。

アイデアは一部の才能がある人しか生み出せないものだという印象があるせいか、生み出し方を知ろうとしない人が多いと思う。才能がないからといってあきらめるのではなく、思い切って発想を転換してみれば、いいアイデアにつながっていく。

65 アイデアを生み出すことについて、ＡとＢが共通して述べていることは何か。

1　アイデアの生み出し方は、簡単に身につけることができる。

2　多くの情報を得ることで、アイデアを生み出しやすくなる。

3　特別な能力がなくても、アイデアを生み出すことができる。

4　発想のしかたを大きく変えなければ、アイデアは生み出せない。

66 新しい商品を企画することについて、Ａ と Ｂ はどのようなアドバイスをしているか。

1　ＡもＢも、いろいろな分野の情報をできるだけ多く集めるといいと述べている。

2　ＡもＢも、流行している商品について詳しく調べるといいと述べている。

3　Ａは関連する分野の他社の商品の情報を集めるといいと述べ、Ｂ は流行に逆らった 考え方をするといいと述べている。

4　Ａ は関連する分野だけでなく、ほかの分野の情報も得るといいと述べ、Ｂ は普通と は反対のことを考えるといいと述べている。

問題 13　次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

以下は、ある作家が物語などの本を読むことについて書いた文章である。

読むことは、受動的な作業だと思っている人は意外に多い。（中略）読んでインプット(注1)して、書いてアウトプットする。そうではなくて、両方アウトプットなのだというのが、私の持論(注2)である。

そこにある言葉を読む。すると心には、文字以上のものが広がる。たとえば、子どものころ読んだ海外作品に、聞いたこともない料理名が出てくるということが、よくあった。クロスグリのパイだとか、ジンジャークッキーだとか。食べたことのないものを、懸命に想像して味わう。それを食べる主人公の舌を、獲得するわけである。①この行為は、受動ではなく能動(注3)である。「創る」作業である。本でしか読んだことのない食べものを、大人になってから実際に食べ、「違う」と思った経験を持つ人は、意外に多いのではないだろうか。もちろん違うのは私たちの想像なのだが、しかし自分の頭のなかで創った料理のほうが、断然(注4)おいしかった、ということは、よくある。

本を読まない、というのは、だから、私にとって創造の放棄(注5)である。②つまらない本、相性が悪い本というのはもちろんある。しかしそこで、どこがどんなふうにつまらないのか、どう展開したらおもしろかったのか、自分のどの部分と相性が悪いのか、そんなことを考えていると、つまらない本はおもしろくなるし、相性が悪い本はいつか相性がよくなる日を待とうと思うことができる。私は、おもしろかった本よりつまらなかった本のあらすじを人に話すほうが、ずっと好きだ。どこがどんなふうにつまらなく感じたかを話すのは、それだけ創造の余地(注6)があるからだろう。

料理でも、絵画でも、あるいは家事の手順でも、創ることの喜びを知ってしまうと、なかなかそれから離れることができない。読むことの楽しみは、と訊(注7)かれれば、創ることの自由さだと私は答える。

（注1） 受動的な：ここでは、受け取るだけの

（注2） 持論：いつも持っている考え

（注3） 能動：自ら進んで行うこと

（注4）断然：ずっと

（注5）~の放棄（ほうき）：~を捨てること

（注6） 余地：ここでは、可能性

（注7）訊（き）く：「聞く」と同じ

67 ①この行為とはどういうことか。

1　実際に、主人公が食べていた食べものを味わってみること。

2　食べたことのないものを主人公と一緒に食べているところを想像すること。

3　主人公がどんな食べものが好きかを想像してみること。

4　主人公になりきって、食べたことのないものを想像して味わうこと。

68 ②つまらない本について、筆者はどのように述べているか。

1　つまらなく感じた点についていろいろ考えていると、おもしろくなる。

2　つまらなく感じた理由を考えていると、自分の好みがよく分かってくる。

3　つまらないと思っても、いつか必ず相性がよくなる日がくる。

4　つまらないと思っても、人にあらすじを話すと面白いところが見つけられる。

69 本を読むことについて、筆者はどのように考えているか。

1　本を読むことは、料理や絵画より創ることの喜びが大きい。

2　本を読むことは、自由に想像を膨らませる楽しい創造の作業だ。

3　本を読んでたくさん知ることができれば、創ることの喜びも増す。

4　本を読んで想像力を身につければ、生活のなかでも自由に想像が楽しめる。

問題 14　右のページは、ある動画コンテストの募集案内である。下の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

70　次の4人は、動画コンテストに応募(おうぼ)しようと考えている。現段階で応募条件を満たしているのは誰(だれ)か。

名前	職業	作品の内容	応募動画の長さ	応募動画の発表歴
ヤンさん	高校生	春口市の自然の魅力(みりょく)	25秒	なし
村木さん	塾講師	春口市の緑茶の魅力	28秒	なし
長島さん	会社員	春口市の歴史的な建物	3分45秒	あり
原田さん	中学生	春口市の祭りの文化	2分15秒	なし

1　ヤンさん

2　村木さん

3　長島さん

4　原田さん

71　ローズさんは、動画コンテストに応募しようと考えている。動画は、インターネットで送りたい。ローズさんは、どうしなければならないか。

1　5月10日までに応募情報を送信し、17日までに動画を送信する。

2　5月10日までに応募情報を送信し、24日までに動画を送信する。

3　5月10日までに応募情報と動画を送信する。

4　5月24日までに応募情報と動画を送信する。

春口市「動画コンテスト」
動画作品募集のご案内

春口市の魅力をアピールする動画を募集します。受賞した作品は、春口市のホームページで公開し、市の魅力を伝える活動に使用させていただきます。

1. 募集する作品

以下の①か②のどちらかの部門に応募してください。応募できるのは、一人１作品で、未発表の作品に限ります。

①緑茶部門

春口市の緑茶をアピールする、20秒から30秒の作品

②観光部門

春口市の歴史、文化、自然に関する、2分から5分の作品

2. 応募資格

高校生以上の方であれば、どなたでも応募可能です。

3.選考方法と賞品

選考は、春口市出身の映像作家である花山洋子氏を委員長とする選考委員会が行います。

賞品として、最優秀賞受賞者（①②各1名）に商品券3万円分を、優秀賞受賞者（ ①②各2名）に商品券1万円分を、応募者全員に記念品を差し上げます。

4.応募方法

4月15日（月）から5月10日（金）までの間に、春口市広報課ホームページの応募用ページから必要な情報を送信してください。その後、動画を以下の（1）か（2）のどちらかの方法で送ってください。

（1）DVDに記録して郵送する場合

作品をDVDに記録して、5月17日（金）必着で郵送してください。なお、提出されたDVDは返却いたしません。

（2）インターネットで送信する場合

応募の受付後1週間以内に動画送信用ページの情報をお知らせするので、5月24日（金）までに送信してください。

5.応募および問い合わせ先

春口市役所広報課（市役所3階）
〒129-9988 春口市東町1丁目1番
電話・FAX032-451-6879
ホームページ https://www.haruguchi.lg.jp/kouhou